

科目名		授業形態	担当教員名	
社会福祉学		講義	棚野 恭範	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
福祉・医療・保健の連携の重要性の中で、「ノーマライゼーション・リハビリテーション」理念を基礎に、知識としての「社会福祉学」を単に制度・サービスの紹介・説明にとどまらず、事例を採り入れ、できるだけ身近なものとする。 社会福祉関連法規、制度について理解を深め、援助者としての援助観・援助方法も併せて学習することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 社会福祉制度の歴史と考え方を説明できる。 2. 社会福祉制度の体系と意義を説明できる。 3. 障がい者の自立を支える制度の内容を説明できる。 4. 介護保険制度について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	総論Ⅰ 社会福祉学を学ぶ意味、社会福祉の歩み			
2	総論Ⅱ 社会福祉関連法と施設・機関・福祉専門職・キーワード			
3	地域福祉Ⅰ 地域をとりまく課題、地域福祉とは			
4	地域福祉Ⅱ ボランティア活動、阪神淡路大震災と災害ボランティア			
5	グループワークⅠ 社会福祉を考える			
6	社会保障制度Ⅰ 社会保障制度の現状と課題、生活困窮			
7	社会保障制度Ⅱ 生活保護制度、課題解決と法律・制度			
8	子ども家庭福祉Ⅰ 子どもをとりまく現状と課題、ヤングケアラーとは			
9	子ども家庭福祉Ⅱ 子ども家庭福祉、課題解決と法律・制度・社会資源			
10	障がい者福祉Ⅰ 障がい者をとりまく現状と課題			
11	障がい者福祉Ⅱ 障がい者福祉、課題解決と法律・制度・社会資源			
12	高齢者福祉Ⅰ 高齢社会の現状と課題			
13	高齢者福祉Ⅱ 要介護高齢者と介護問題、地域包括ケアシステム、介護保険制度			
14	グループワークⅡ 福祉課題の検討			
15	社会福祉学まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	社会福祉全般にわたる理解内容を評価基準とする		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
よくわかる社会福祉 第11版	山縣文治・岡田忠克 編		ミネルヴァ書房	
自由記載	レジメ・講義（参考）資料を配付する			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				